

提案書評価基準

【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「6 教職員の働き方改善や次世代校務 DX 環境に関する提案」、「4 クラウド版グループウェアについての提案」、「5 運用サポートについての提案」に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員の評価の合計点の平均が 246 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数						重要度	配点
1 全体を通した評価事項									
業務目的、業務内容を理解し、簡潔かつ明確に提案しているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20	
導入及び運用方法に妥当性・実現性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×3	15	
2 提案者について ※特定共同企業体の場合は、構成員全体で満たしているかを判断する。									
(1)ワークライフバランスに関する取組									
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス企業認定（旧よこはまグッドバランス賞）の取得	5:2つ以上有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5	
(2)障害者雇用に関する取組									
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.5%の達成状況に応じて評価。 ・達成している（従業員40.0人以上）、又は障害者を1人以上雇用している（従業員40.0人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5	
(3)健康経営に関する取組									
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得 ②横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	5:2つ有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5	

3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
業務の遂行に十分な従事者が割り当てられているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×	2	10
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校においてクラウド版グループウェアの導入実績が1自治体以上あるか。ある場合、本業務に有益な結果、評価を得ているか。 (※実績あり→「1or3or5」、実績が無い場合「1」)	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×	4	20
(3)業務管理									
進捗管理、リスク管理（個人情報漏えい等の対策やコンプライアンス対策）について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×	4	20
4 クラウド版グループウェアについての提案									
(1)委託者が必要と考える機能要件は、十分に対応できているか。	5:十分対応できている 3:普通 1:十分対応できていない	5	4	3	2	1	×	6	30
(2)ログイン方法や利用環境については、委託者が求めるものを満たしているか。	5:両方満たす 3:片方のみ 1:両方とも満たさない	5	-	3	-	1	×	6	30
(3)委託者が必要と考える非機能要件は、十分に対応できているか。	5:十分対応できている 3:普通 1:十分対応できていない	5	4	3	2	1	×	4	20
(4)既存のグループウェアからのデータ移行が安全かつ短期間で可能か。	5:移行できる 3:費用や期間がかかる 1:移行できない	5	-	3	-	1	×	5	25
(5)サービスが安定的に稼働できる環境を構築できているか。また、不具合発生時迅速な復旧が可能か。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×	4	20
(6)クラウドサービス/セキュリティ要件は満たしているか。	5:十分満たしている 3:普通 1:満たしていない	5	-	3	-	1	×	4	20
(7)アクセシビリティ要件を満たしているか。	5:十分満たしている 3:普通 1:満たしていない	5	-	3	-	1	×	2	10

5 運用サポートについての提案									
(1)教職員が十分にシステムを理解し、業務の効率化につながる活用ができるような研修内容になっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
(2)クラウド版グループウェアが円滑に運用されるよう、教職員向けサポートデスクが充実しているか。 ※オンライン窓口…メール、問合せフォームなど	5:電話及びオンライン窓口がある (又はチャットボット+問合せフォームなどオンライン相談窓口が優れている*) 3: 電話又はオンライン窓口(上記*を除く)がある 1:サポートデスクの充実が不十分	5	-	3	-	1	×6	30	
6 教職員の働き方改善や次世代校務 DX 環境に関する提案									
(1)教職員の働き方改善につながるシステム活用方法について、具体的に明示され、妥当性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40	
(2)次世代校務 DX 環境構築に向けた具体的な提案があるか。 例：次期校務支援システムとの連携 学校外からの利用における安全なアクセス制御	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40	
7 導入及び運用に関する費用									
(1)令和7年度及び令和8年度から2か年分の導入及び運用に関する費用が、具体的に明示されているか。また、運用コスト低減に資するシステム構築上の工夫が具体的に明示されており、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×6	30	

満点 410